

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Hコート 第3試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		19 - 12 18 - 10 22 - 12 12 - 29	63	チームB
東京学館新潟	71			鹿児島純心
新潟				鹿児島

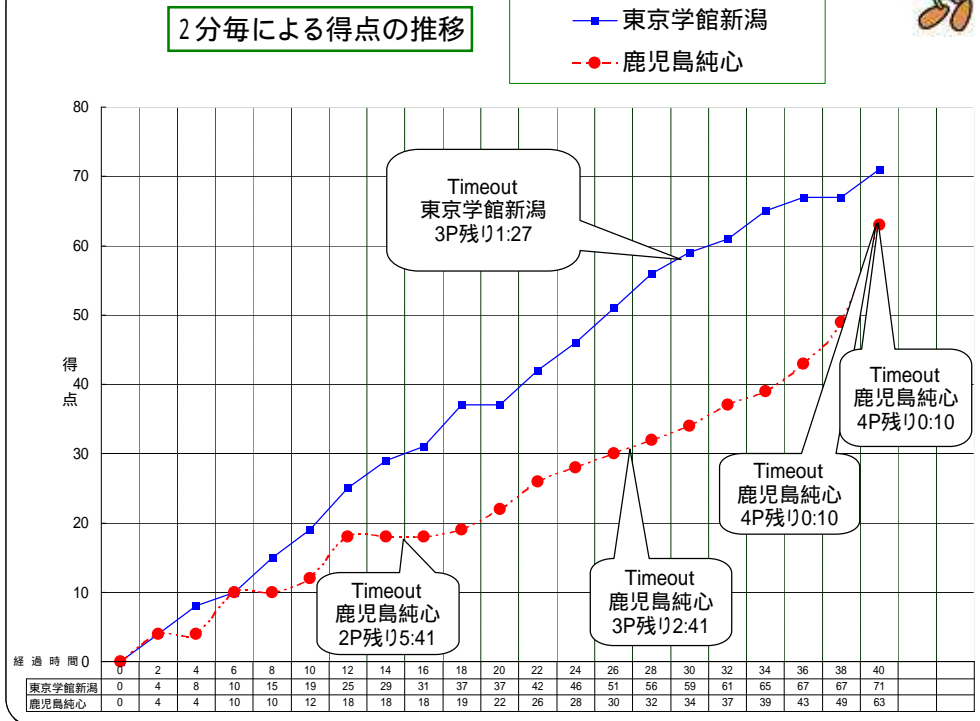
東京学館新潟

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	金子 智美	X	4	0	0	2	3	0	0	1	0	0	2	1	1	0	6
5	齋藤 かほ	X	5	1	6	0	2	2	4	2	4	4	1	1	8	0	34
6	赤川 愛	X	10	0	0	4	8	2	3	1	4	8	0	1	3	1	40
7	石井 郁子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
8	岩本 江里子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9	堀川 美咲		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	花沢 夏実	X	28	0	0	9	15	10	11	3	4	15	5	1	1	3	37
11	宮原 綾	X	10	3	19	0	0	1	2	3	1	2	3	1	1	1	36
12	小山 伽渉		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	宇都宮 早穂	X	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	1	4
14	大柴 かおる	X	14	2	7	3	8	2	4	1	0	6	4	1	4	0	40
15	守橋 花鈴	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
コーチ	本多 哲朗									0	1	2					
出場: ×は先発、/は出場			71	6	32	18	36	17	24	12	15	37	17	6	18	6	200
確率			18.8%			50.0%			70.8%								
												計	52				

鹿児島純心

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	濱田 梨愛	X	31	4	15	7	0	5	7	3	7	6	2	2	0	1	37
5	田淵 美歌	X	4	0	4	2	21	0	2	4	2	3	1	1	1	0	32
6	上之原 里奈	X	12	0	1	5	3	2	2	4	3	6	3	2	1	1	29
7	小林 結穂	X	2	0	0	1	6	0	0	0	2	1	0	0	0	0	7
8	上之園 夕生	X	8	2	12	1	0	0	0	4	2	7	5	1	3	1	36
9	丸山 真依	X	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
10	東 真里江	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	花田 亜莉沙	X	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12	山中 渓衣	X	6	0	0	3	1	0	0	2	6	4	2	2	0	0	24
13	吉見 亜佐子	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
14	川畑 里奈	X	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	大山 由梨絵	X	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	1	2	0	0	28
コーチ	小園 裕之									0	4	4					
出場: ×は先発、/は出場			63	6	32	19	43	7	11	22	26	33	14	10	5	3	200
確率			18.8%			44.2%			63.6%								
												計	59				

2分毎による得点の推移



戦評

両チームともアグレッシブなディフェンスからの速攻を得意とする東京学館新潟と鹿児島純心の対戦。東京学館新潟はマンツーマン、鹿児島純心は2-3ゾーン、スリークォーターからの1-2-2ゾーンプレスでスタート。第1P、東京学館新潟は#10花沢のフリースローやジャンプシュートで流れを掴む。鹿児島純心は#4濱田の1対1、スティールからの速攻で応戦。19対12で東京学館新潟がリードして終了。第2P、バス回しにリズムの出た東京学館新潟は左右に大きくバスを展開し、ゾーンを攻め得点を重ねる。鹿児島純心も変化のあるゾーンプレスで必死にこらいつくが、3Pがごとごとリングにはじかれ得点が伸びず、37対22で東京学館新潟がリードを広げて後半へ。第3P序盤、鹿児島純心#6上之原の1対1で追いつける。鹿児島純心の1-1-3ゾーンなどで激しいプレッシャーを受けながらも、東京学館新潟#11宮原の3P、#14大柴の落ち着いたボール運びで更に点差を広げ59対34で最終ビリオドへ。第4P、鹿児島純心#4濱田の3P3本を含む15得点や勝利への執念を見せるリバウンドやルーズボールなどで、25点差を残し14秒で6点差まで追いつけたが、東京学館新潟#10の花沢シュートなどで粘る鹿児島純心を振り切り、東京学館新潟が71対63で勝利した。

主審	山田 健一	副審	東城 悠	戦評	若田 博 (埼玉県高体連)
----	-------	----	------	----	---------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット